

# 躍進

新琴似中学校  
学校だより

令和7年度  
3月号(第12号)  
令和8年2月27日

## 新琴似歌舞伎でつながる地域の伝統

### 教務部主任

2月3日(火)に本校体育館にて、1学年生徒を対象に、新琴似歌舞伎の公開講座が行われました。本来はプラザ新琴似の大ホールにて行われている新琴似歌舞伎に中学生も参加させて頂いていましたが、今年度は、ホールの改修工事のため公演に参加することができませんでした。

今年度は、本校の体育館に新琴似歌舞伎伝承会の方々をお招きし、公開講座という形で実施することになりました。体育館のスクリーンにて新琴似屯田兵中隊本部保存会が作成した映像を見たり、伝承会の方々からの新琴似歌舞伎の成り立ちや特徴についてのお話を聞いたりして、生徒はたくさんのお話を学習することができました。

また、着付け体験も実施していただき、本物の衣装を着用することもできました。衣装の柄の意味や構造、種類についても学ぶことができました。

新琴似の地域の歴史や文化について、深く学ぶことができ充実した時間を過ごすことができました。

新琴似伝承会の皆様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

この公開講座については、札幌市北区役所ホームページ『みてきて北区』にも掲載されていますので、是非ご覧ください。



## 働くとは

### 7組担任

2月19日(木)・20日(金)に、にじいろ販売会という行事がありました。北区近隣の特別支援学級から作業学習で製作した製品が一同に集まり、地域の方々や近隣小学校の児童、保護者のみなさんに販売するという行事です。自分たちが時間と労力をかけて作ってきた製品が目の前で購入されていくことはもちろん、他校の製品を購入できる貴重な機会でもあり、普段はなかなか味わうことのできない貴重な経験を積むことができました。

日頃の作業学習でも「働く」とは「誰かのためになること」「世の中の役に立つこと」と日々伝えていきます。自分たちが良いと思うものではなく、お客様に良いと思ってもらえる製品作りを目指し、細かな部分にまでこだわり、製品作りに取り組みできました。今回の販売会を通して、自分たちが心を込めて制作した製品がお客様に喜んでもらえた経験は、生徒たちにとって素晴らしい財産となりました。今回、購入していただいた方々のもとで、7組製品が日常のお役に立ってくれることを心から願っています。

次年度もまた「誰かのためになるもの」「世の中の役に立つもの」を一つでも多く作り、一人でも多くの方の手に渡りますよう、心を込めて丁寧に製品作りに励みます。保護者の皆様におかれましても、機会がありましたら、どうぞお手にとってみてください。